

謝罪文

甲野花子様

私が今回おこしてしまいました、甲野花子様の車を傷つけた器物損壊事件について、大変なご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

ストレス解消の為という全くもって自分勝手な理由で、何の落ち度もない甲野花子様の大事なお車に傷をつけてしまいましたこと、その後の修理などで多くのご迷惑とご面倒をおかけしたこと、今となってはただただ恥じ入り、深く反省するばかりでございます。

甲野花子様のお怒りや費やした時間について、私のお詫びで埋め合わせできるものではないことは承知しておりますが、せめてもの償いとして、修理費用全額と慰謝料についてお納めいただければありがたく存じます。

己の愚かしさを痛切に感じ、自身の行いを見つめ直して、二度とこのような軽率な振る舞いを繰り返さないために、カウンセリングに通い自身のストレスをコントロールできるように務めてまいります。

もちろん、甲野花子様のお宅近辺には今後一切近づかず、ご迷惑をおかけしないことを誓います。

甲野花子様のお車を傷つけ多大なるご迷惑をおかけしましたこと、改めて、深くお詫び申し上げます。

まことに申し訳ございませんでした。

令和元年5月15日

鈴木太郎 印